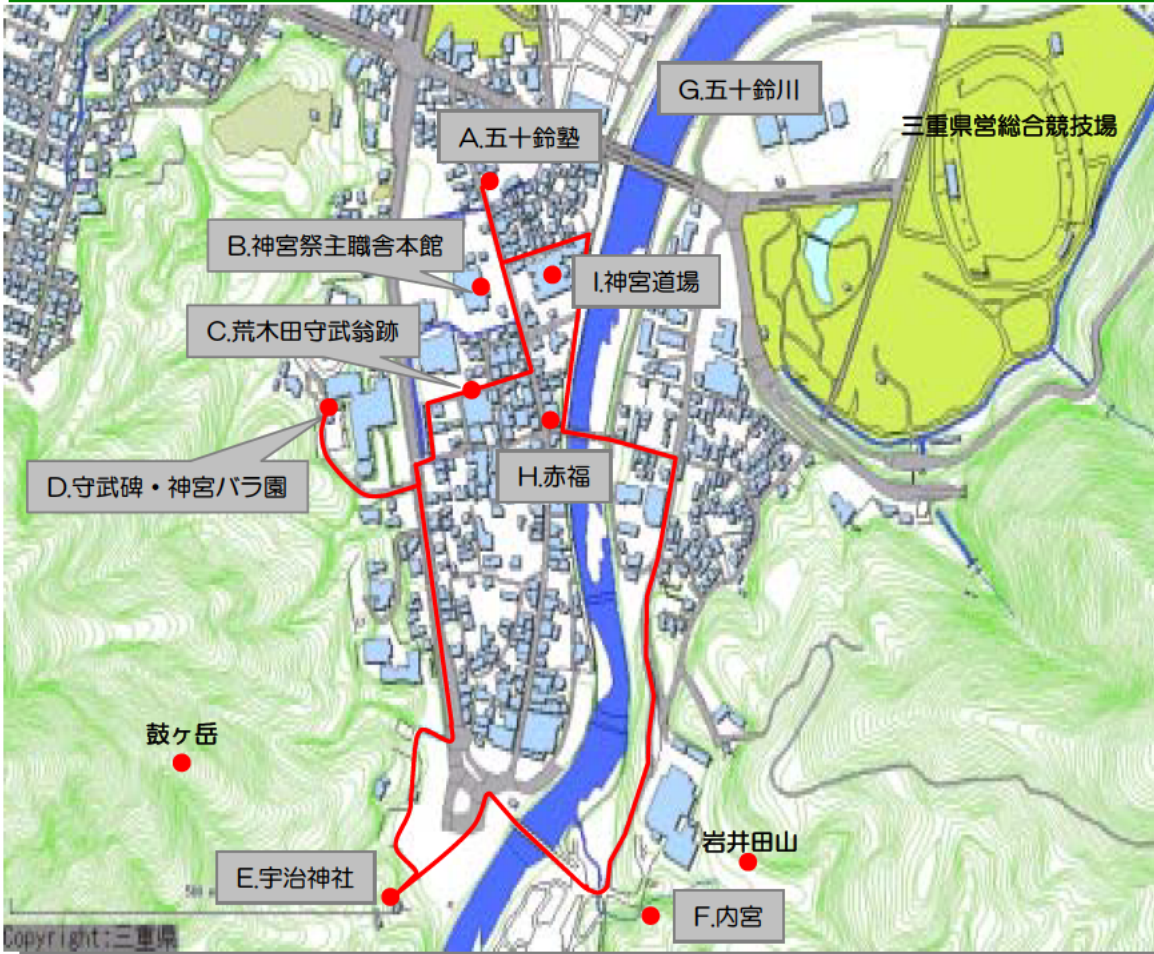


# ～お伊勢さんゆかりの三大詩歌人の足跡を往く～

テーマ	荒木田守武 ～ おはらい町から内宮神域と五十鈴川河畔に行く～			
ルート名称	拠点施設	全行程	所要時間	
「俳祖 荒木田守武」追想の道	五十鈴塾	約 4.0 km	約1時間10分	
2	A 五十鈴塾 → B 神宮祭主職舎本館 (旧慶光院客殿) → C 荒木田守武翁跡 → D 守武碑・神宮バラ園 → E 宇治神社 → F 内宮 → G 五十鈴川 → H 赤福 → I 神宮道場 → A 五十鈴塾			

荒木田守武 — あらきだもりたけ —  
 (1473～1549 三重県伊勢市中之切町出身)  
 戦国時代の伊勢神宮祠官・連歌師。荒木田一門蘭田氏の出身で、父は荒木田守秀。母は荒木田(藤波)氏経の娘。荒木田守晟の弟。山崎宗鑑とともに俳諧の祖とも言われている。  
 「元日や 神代のことも 思はるる」



【 A 五十鈴塾 】  
 3棟の伊勢の町屋を活用し、日本の伝統文化を学ぶことを目的とした、楽しくてためになる文化体験塾である。

【 B 神宮祭主職舎本館 (旧慶光院客殿) 】  
 室町時代後半の混乱期に神宮の式年遷宮が中断した時、その再興に尽くし1649年(慶安2年)までの正遷宮を江戸幕府の朱印状を得て取り仕切った慶光院の客殿として建築された。

【 C 荒木田守武翁跡 】  
 荒木田守武の屋敷跡である。

【 D 守武碑・神宮バラ園 】  
 守武碑・・・如雪園の一隅に昭和34年、荒木田守武が詠んだ「元日や神代のことも思はるる」の句碑が建立されている。  
 神宮バラ園・・・昭和62年に開園。春と秋にバラが咲き乱れる名所でバラの花を神宮に奉納している。

【 E 宇治神社 】  
 内宮前の氏神で9月15日には守武をしのび守武祭を行い、また、昔から健康健脚祈願やわらじを納める習慣がある。

【 F 内宮 】  
 天照大御神(アマテラスオオミカミ)が御鎮座している。日本国民の大御親神とあがめまつる皇祖神である。

【 G 五十鈴川 】  
 別名「御裳濯(ミモスリ)川」とも呼ばれ、清らかな全長約20kmの河川である。

【 H 赤福 】  
 1707年(宝永4年)創業、内宮おはらい町の五十鈴川のほとりで販売されている。

【 I 神宮道場 】  
 旧神宮司庁で、神職の方々の研修の場として使われている。



神宮祭主職舎本館



神宮バラ園



内宮



五十鈴川



神宮道場